

No. 1370

第40回さつき賞

ハワイアンイメージが快勝

第40回さつき賞は4月13日、前夜来の雨で泥んこと化した中山競馬場で行なわれました。距離24メートル、東西の優駿16頭が覇を競います。

(実況放送)

一番人気のトウショウゴットは右前脚を故障して競争を中止。重馬場得意のハワイアンイメージ、オベックホースが好位につけます。ハワイアンイメージが増沢騎手好騎乗のもと2分10秒2のタイムで優勝しました。

全日本23連敗

— 男子・日ソバレー —

新生全日本の戦いぶりが注目された日ソ対抗バレーボール（東京中日スポーツ主催）の男子第一戦は4月13日、名古屋市の愛知県体育館で行なわれました。全日本は4月に入って編成したばかりのチーム。それだけに基本的なミスも多く、サービスやパスで失敗。一方、ベストメンバーのソ連は第一セットから一方的な攻撃を展開、第一セットでは15対0と対抗戦はじまって以来のゼロ封勝ちをするなど圧倒的な強さを見せつけ、4年前の日ソ対抗第3戦以後続けている連勝記録を23と伸ばした。

スリル満点

— 山梨・富士吉田 —

遊園地はいま、世界も日本もぶん回し、ひねり回す“絶叫マシン”の新設競争展開中。ヤングを主流客にしようとする傾向の遊園地ではスリル度が人気のバロメーター。このほど富士のすそ野の遊園地にオープンした連続2回宙返りジェットコースター“ダブルループ”はまさにその最高峰。「さあ、かくごのほどは……トイレはすませましたか」。コースターが引き上げられる高さは日本最高の地上35m。コースターは悲鳴と共に45度の角度で右へひねられながら第1ループに突入。このときの時速は90キロ、これは安全基準ギリギリのスピード。息つく間もなく第2ループ。天と地がひっくり返り、自分の鼻が顔にめり込むような強い重力がかかるというすざまじいもの、文字通りスリル満点。あとは8の字や円を描きながら減速してゴール。「いかがでしたか」。恐怖のあまりみんなホオをひきつらせ、足もとはフラフラ。一日ひとり失心する女性が出るといいます。基準ギリギリのスリリングマシンを求めてエスカレートする遊園地、次はどんなものが登場しますか。